

2024年度春号（第21号）



## 授業紹介

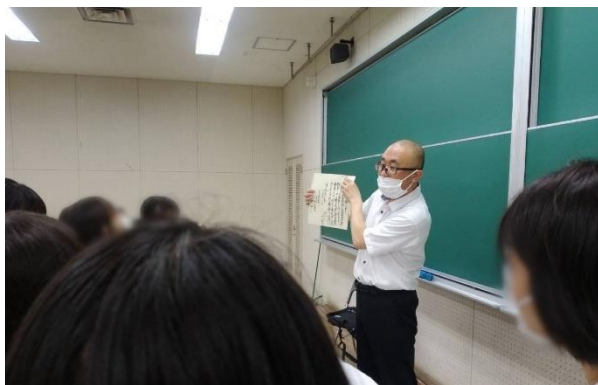
### — 日本古文書史料演習特集 —



歴史学科の学生が履修できる授業のひとつに「日本古文書史料演習」があります。他大学ではゼミや大学院に入ってから読むことが多い古文書を、京都府立大学では1回生から読むことができます！

古文書の授業は1回生・2回生の前後期の4つに分かれており、1回生前期の古文書の授業は最終的にどの分野・時代に進むかに関係なく、歴史学科の学生はほぼ全員履修します。また古文書学の学芸員を目指している学生は、2回生の後期まですべての古文書の授業を履修する必要があります。

1回生の授業では、江戸幕府の日記、江戸幕府から大名に宛てた手紙、お触書、京都の町人たちの日常が垣間見える文書など近世の史料を翻刻(くずし字を判読すること)します。例えば町人の文書では、町人が町屋敷を買う時の史料などを扱います。普段の授業では史料をコピーしたものを用いますが、年に数回、本物の史料を実際に見ながら解説を聞いたり翻刻できたりする貴重な機会があります。



▲本物の古文書を用いた解説の様子

2回生の授業では中世以前の史料を翻刻します。京都府立大学のキャンパス内にある歴彩館に所蔵されている国宝の東寺百合文書も扱います。1回生の授業では史料の翻刻と先生による解説が主な授業内容でしたが、それに加えて古文書学を学ぶこ

とで文書の様式などの知識も身につけます。また古文書の見学会では、国宝の東寺百合文書を今にも触れられそうな距離で見ることができます！



▲展示された本物の古文書

ここまで紹介してきた「日本古文書史料演習」の他に、「東洋史史料演習」「西洋史史料演習」があります。この2つの授業も4つに分かれていて、自由に選択して履修することができます。

「東洋史史料演習」では、中国の歴史書の原文を白文のまま読解します。ゼミで行うような輪読を行うので史料読解の力がつくだけでなく、語句や時代背景の補足説明も行われるので東洋史に明るくなくても分かりやすくてとても面白い授業です。

「西洋史史料演習」は世界中の過去の伝記や日記などの史料が英訳されたものを読解します。時代背景が垣間見える表現や独特の単語と自分が持っている知識がリンクし、授業中にわくわくすることも多いです。

他には「東洋文化史史料演習」「西洋文化史史料演習」などもあります。この2つの授業は「東洋史史料演習」「西洋史史料演習」と同様に史料読解を行う授業なのでどれか1つ履修すればいいかな？と思うかもしれませんが、担当の先生ごとに授業に個性が出るので興味があればぜひ両方履修してみてください！(岡田)

# 歴史学科の活動

歴史学科独自の活動を紹介します。このほかにも学科旅行や文化遺産フィールド実習など様々な活動をしています。

## 〔史学ゼミ〕

史学ゼミは週に1度集まって歴史に関する本や論文を読み、発表をする自主ゼミで、現在新2回生5人、新3回生1人で活動しています。毎年春休みには旅行に出かけており、今年三重県に行きました。史学ゼミの活動では1回生から論文に触れ、レジュメの作り方などを先輩から教えてもらえるため、早いうちから本格的な歴史の勉強をすることができます。また、発表後の質疑応答の時間を長く取っているため論文を読むことを通じて得た疑問をお互いにぶつけ合い、思考力を養うことができます。世界史でも日本史でも、どの時代でも、分野は問いません。より深く歴史を学びたいという方にはおすすめの活動です。(安田)



▲旅行の様子

## 〔れきしんぶん〕

歴史学科の広報誌、「れきしんぶん」の発行はデザイン研修の主な活動の1つです。学生メンバーで取材・記事執筆・レイアウト作成といった作業を分担し、歴史学科に関するさまざまなトピックを記事にしています。

学生や先生方など学内向けの記事だけでなく、高校生をはじめとする学外の人に向けて歴史学科の活動に興味を持ってもらえるような特集を組むこともあります。

れきしんぶんは大学構内に設置されているほか、歴史学科のホームページやXなどのSNS上でも公開していますので、ぜひご覧ください。(浅田)



▲過去のれきしんぶん

## 〔PS交流会〕

PS交流会は、1回生を対象に、各先生方の研究室を訪問し、先生の専門分野について何たり質問をしたりすることを通して、先生と学生との距離を縮めることを目的とした活動です。このPS交流会は、自分の興味のある歴史学における学問分野への理解を深められるだけでなく、普段は聞けないような先生の研究遍歴や研究に対する姿勢を知ることのできるため、将来の進路選択の一助にもなっています。昨年の参加者からは「先生の幅広い研究姿勢に感銘を受けた」「とても楽しい語らいの時間を過ごすことができた」といった好評の声を頂いております。本年度も開催する予定ですので、1回生の皆さん是非ご参加ください。(高尾)



▲昨年のPS交流会の様子

今号は高崎・寺本(校正)、芝田・米山・若山(編集)が担当しました。

## デザ研について~About Us~

文化遺産デザイン研修は歴史学科の課外活動です。歴史や文化遺産に関する内容を自分たちで調査し、その成果を適切に表現・発信することを目的とし、インプットからアウトプットまでをデザインします。また、活動を通じてメンバー自身の成長とキャリアデザインの機会にもなっています。

2023年度は学科ニューズレター「れきしんぶん」の発行に加え、X(旧Twitter)を通しての企画、教員と一回生の交流を図るPS交流会などを実施しました。

作成: 京都府立大学文学部歴史学科文化遺産デザイン研修

発行: 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学文学部歴史学科



FOLLOW



@designkemsuu